

日本語を母語としない子どもたちとともに
JSL 日本語指導教育研究会通信
JSL (=Japanese as a second language)

平成30年12月第8号

発行者 会長 熊本 修治

日本語指導教育研究会 事務局

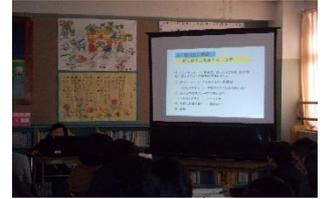
第9回研修会

全体研修1 会場校 香椎浜小学校, 博多中学校の取り組み

・香椎浜小学校 三井幸子先生 博多中学校 萬石 ゆかり先生

香椎浜小学校には、29名の外国にゆかりのある子ども達が在籍しています。秋のふれあいタイムではワールドスタディールームのこどもの出身国の紹介を行うなど、相互理解ができるようなさまざまな取り組みがなされています。

博多中学校では、定期考査後に個別カウンセリングを実施して成績だけでなく、ノートのとおり方、ペンの使い方などの学習面、また家庭についても相談する時間を設け、生徒をサポートしています。また、必ず長期休み前にはひとりひとりに頑張ったことを称賛する賞状を渡すなど、自己肯定感を高める取り組みが多くなされています。

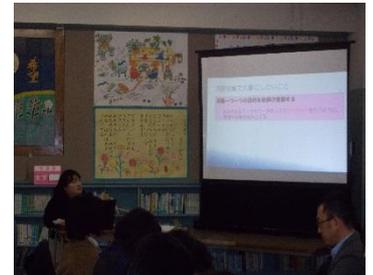


○博多中学校では先生方にアンケートをとったり、個別カウンセリングを何回もされているところが、子ども達の支援が手厚いと思いました。

全体研修2 読む指導について

・春吉中学校 薄里美先生

読む 「ボトムアップ」と「トップダウン」二つの読みを意識した読解授業について研修していただきました。トップダウンのストラテジーでもあるスキミングとスキニングなどのテクニックも紹介していただきました。その後実践で、文章を読んで、児童生徒のスキーマ（既有知識）を活性化するための手だてを考えました。また、中学校一年生の国語の教材を読み、どこに気をつけて読ませっていくかを考えたり。児童生徒の読解力にどのような読み方、指導が効果的なのかを見極め、実践していきたいと思います。



○読みの間違いにも種類があり、子どもに応じて対応する必要があることがわかって良かったです。
○スキーマを活性化させながら、トップダウンの読み方を鍛えたり、表現方法をボトムアップで学習できるようにすることが大切だなと思いました。

視察報告 愛知県豊橋市の報告

・博多中学校 横山小織先生

愛知県豊橋市の視察の報告をしていただきました。豊橋市には1860名もの外国に関わりのある児童生徒がおり、対象生徒が10名いる学校には国際教室が設置してあります。また、多くのバイリンガル相談員や日本語相談員が登録されており、サポート体制が整っています。福岡市でも取り入れてみたいと思う取り組みが多くあり、大変参考になりました。



全体研修3 グループ研修

・春吉小学校 山本光一先生 立和田理恵先生

グループで進めている研究の進捗状況とこれからの取り組みの方向性について確認しました。3月の発表に向けてさらに良いものにしていきたいです。

